

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画  
平成30年度事業 点検・評価調書

4-II-3

4-II  
-3

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備	取組項目	多様な説明媒体の整備
	節 II. ガイダンス機能・ガイド体制の充実		
事業(施策)名	3 多様な説明媒体の整備	事業主体	佐渡市世界遺産推進課
		関連団体	県文化行政課、佐渡地域振興局企画振興部
事業実施期間	H28～R4		
事業概要	【事業目的】	○説明媒体の整備により、来訪者の構成資産に対する理解促進を図る。	
	【事業内容】	○構成資産の価値を分かりやすく説明するため、関連機関と協力し、ICT <sup>※</sup> 等を活用した映像の提供や多言語機能など、効果的な様々な説明媒体を整備する。 (※ICT:Information and Communication Technologyの略)	
30 事業 計画 と 実績	【30年度計画】	●メインガイダンス施設(佐渡金銀山ガイダンス施設)の展示工事に着手し、その中で映像や説明媒体、現地ガイドアプリの整備を行う。	
	【30年度実績】	●メインガイダンス施設(佐渡金銀山ガイダンス施設)の展示に対応したスマートフォン用現地ガイドアプリ(日・英・繁体字・簡体字・韓)を開発した。	
課題・ 今後の 取組	【課題】	■平成30年度に整備した現地ガイドアプリ以外にも、各種サインの設置場所や内容・表記(多言語)について、来訪者の構成資産への理解促進に向けて、最新技術の導入を含め、引き続き関係機関と検討を進める必要がある。	
	【今後の取組】	■令和元年度にメインガイダンス施設(佐渡金銀山ガイダンス施設)の多言語(英・繁体字・簡体字・韓)パンフレットを作成・配付し、来訪者の理解を深めていく。	
事業 評価	【事業の達成度】	◇計画どおり、目標を達成できたことからBとした。 [ a ● b ● c ]	
	【事業実施の効果】	[ a ● b ● c ]	
	【総合評価】	[ A ● B ● C ]	

a: 進んでいる。高い。  
b: 概ね順調。概ね適切。  
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。  
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。  
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。